

# カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

**カーボンハーフスタイル  
推進資料の活用例**

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~  
**循環型社会とカーボンハーフ**

## 表題

## ねらい

- 循環型社会の考え方を、一方通行型の資源消費と比較して理解する。
- 循環型社会の実現が温室効果ガスの排出量を減らすことにつながることを理解する。
- 食品ロスとプラスチックごみの問題について知り、自分たちにできることを考える。
- 3Rの取り組みについて理解し、自分たちにできることを考え、実践しようとする。

## 本教材で扱う 主な内容

一方通行型の資源消費と循環型社会、循環型社会と温室効果ガスの排出量、食品ロス、プラスチックごみの問題、3Rの取り組み

## 主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、循環型社会の考え方を理解する。	○一方通行型の資源消費と循環型社会の違いが分かるように、循環型社会の考え方を説明する。	◆掲示用教材①  <a href="#">ワークシート①</a>
○推進資料②を見て、循環型社会の取り組みが二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量の削減にどのようにつながるのか考える。	○循環型社会における取り組みの例を示し、温室効果ガスの排出量の削減にどのように関係しているのか、質問する。	◆掲示用教材②  <a href="#">ワークシート②</a>
○推進資料③を見て、食品ロスについて知り、食品ロスが多いとどのような問題があるのか考える。	○食品ロスについて説明する。 ○食品ロスを減らすための身近な取り組みを考えるように促す。	◆掲示用教材③ ワークシート① ■東京都環境局 <a href="#">東京食品ロス0(ゼロ)アクション</a>  
○推進資料④を見て、プラスチックごみの問題について知る。	○プラスチックごみの問題について、温室効果ガスの排出と海洋汚染の両方の観点から説明する。	◆掲示用教材④ ■政府広報オンライン <a href="#">環境・エコ</a>  
○推進資料⑤を見て、3Rの取り組みについて理解する。 ○Renewable(リニューアブル)の取り組みを個人やグループで調べ、自分たちが生活の中でできることについて話し合う。 ○循環型社会を実現していくためにどのような取り組みが必要となるか考える。	○3Rの取り組みを確認する。 ○Renewableの考え方を説明する。 ○Renewableの取り組みを推進するためには、自分たちの生活をどのように変えることが必要か、話し合うように声掛けをする。	◆掲示用教材⑤ ワークシート② ■一般社団法人プラスチック循環利用協会 <a href="#">最近よく聞く「Renewable」って何?</a>  <a href="#">ワークシート③</a>  

